

不撓不屈

新中泊町長 濱舘 豊光



—プロフィール—
 氏名／濱舘 豊光(はまだて とよみつ)
 生年月日／昭和34年10月3日(57歳)
 経歴／五所川原高校卒、弘前大学経済学科卒、青森県庁入庁、エネルギー開発振興課長、企画政策部広報聴課長、青森県東京事務所長
 趣味／卓球、散歩
 家族構成／母、妻、娘2人、愛犬

この度の町長選挙におきまして、町民の皆様をはじめ、各方面からの温かいご支援により当選の栄に浴することができました。私にとって身に余る光栄であり、責任の重さに対して身の引き締まる想いで一杯でございます。

さて、今後の町政運営に当たります。大地の恵と海の幸を活かし、農業と漁業でしっかりと生業を維持できる町づくりを努め、直面する人口減少・少子高齢化問題に早期に取り組みで参る所存でございます。

農業については、当町に存する約3300町歩の水田と約500町歩の畑をどのように活用すれば今よりも多くの農業生産額を獲得できるのか、漁業については、資源確保の課題解決やつくり育てる漁業への転換により漁業収入の安定化を図る方法について、県の試験研究機関や大学などの「知」をお借りし、直接農業や漁業に携わる方々の声を十分にお聞きしながら検討・研究を進めて参ります。

また、働く場の確保については、農業、漁業はもちろん、町内で頑張っておられる企業の支援に努め、現在の雇用を確保しつつ、県外の企業を積極的に訪問し、企業誘致や取引先の拡大につながる情報収集に努めて参ります。

そして、お年寄りの一人暮らしや、地域の暮らし方対策、さらには町の次代を担う子どもたちの教育の問題につきましても、改めて課題を抽出しながら、その解決に早急に取り組みで参る所存であります。

最後に、私が座右の銘とする「不撓不屈」を旨とし、決して諦めることなく、様々な可能性を探求しながら、町民の皆様が「住んで良かった」と思える、そして町外の皆様からは「住んでみたい」と思われるような町づくりを進めて参りたいと考えておりますので、皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

退任の挨拶

私は去る4月23日の任期満了をもって、中泊町長を退任いたしました。省みますと、平成4年3月から旧中里町収入役、平成11年4月から旧中里町長を2期、平成17年4月から中泊町長を3期と、通算25年にわたり町政運営の職に就かせていただきました。

特に、平成11年4月、旧中里町長に初当選以来、皆様から寄せられた信頼と期待にお応えすべく、町が抱える課題の解決と、町民が安心して暮らせる町づくりを目指し、皆

様の御協力のもと誠心誠意全力で取り組んでまいりました。

そして昨年、待望の役場新庁舎の完成により、町づくりの基礎が固まったことで、私に課せられた大役を果たすことができたと思ひ、引退することになりました。

今後は、一町民として、かけがえない中泊町の限らない発展のために、かげながら応援してまいります。これまでお寄せいただいた町民の皆様への御厚情に心からお礼申し上げます。併せて町民の皆様のご多幸を祈念申し上げます。退任のご挨拶といたします。

誠にありがとうございました。

退任式

4月21日(金)には、退任式が行われ、町職員から花束が贈られました。

4月24日(月)には、濱舘町長が「中里・中泊町長として18年の長きにわたり町民福祉の向上にご尽力いただきました。これまでのご苦労に対しまして、心からの感謝と御礼を申し上げます。これまで築いてこられた町の基盤をしっかりと引き継ぎ、さらに発展させて行けるよう全身全霊を込めて職務に当たりたいと決意を新たにしております」と話し、これまでの町政運営の功績を讃え、小野前町長に表彰状が贈られました。

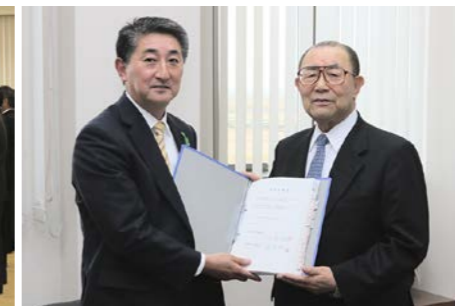
小野前町長は、「大変名誉なこと嬉しい。これからの中泊町をよろしくお願ひします」と話していました。



前中泊町長 小野 俊逸



職員への訓示



町政の引継ぎ



当選証書付与式